

〈連携による円滑な制度推進〉

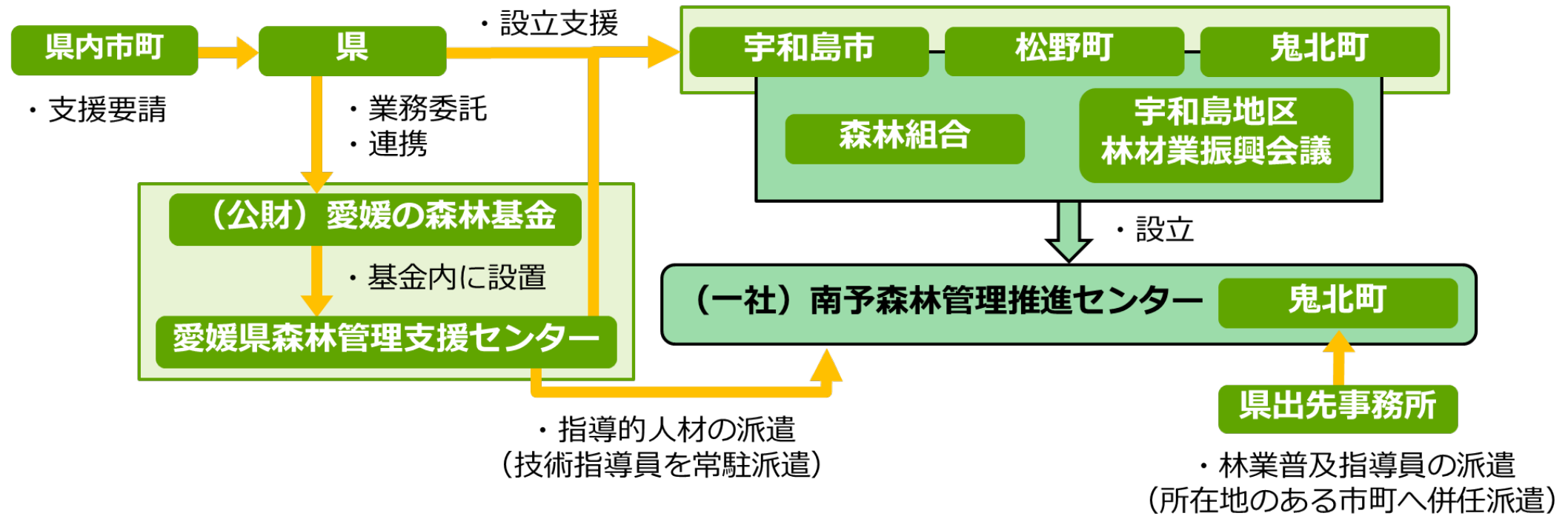
愛媛県 宇和島市、松野町、鬼北町

(公財) 愛媛の森林基金 愛媛県森林管理支援センター
南予森林管理推進センター担当 主任技師 笹山 清吾

目次

- 1 : 推進センターの設立経緯
- 2 : 南予流域の概要
- 3 : 森林面積と林業事業体
- 4 : 南予森林管理推進センター概要
- 5 : 組織体制
- 6 : 森林経営管理制度の基本方針
- 7 : 森林経営管理制度の推進方式
- 8 : 意向調査及び情報提供内容
- 9 : 森林経営管理制度進捗管理システム
- 10 : 森林経営管理制度の実施状況
- 11 : 森林整備を促す状況の構築
- 12 : 終わりに

1：推進センターの設立経緯



2：南予流域の概要

南予地方局

人口：約8万3千人
総面積：約8万8百ha

鬼北町

松野町

宇和島市

愛南町

宇和島市：真珠

松野町：桃

鬼北町：雉

南予森林管理推進センター



愛媛県北宇和郡鬼北町
大字奈良4073番地7
(南予森林組合内)

3：森林面積と林業事業体

市町名	森林面積	人工林面積
宇和島市	33,447 ha	民有林 (27,742ha) のうち 12,519 ha
松野町	8,251 ha	4,421 ha
鬼北町	20,620 ha	12,541 ha

3市町にある認定林業事業体
うち、意欲と能力のある林業経営者

10社
4社

愛媛県全域を担っている認定林業事業体
かつ、意欲と能力のある林業経営者

1社

11社

4：南予森林管理推進センター概要

管内の森林が適正に管理されるよう、宇和島市、松野町、鬼北町及び南予森林組合と連絡調整を図りながら、森林の健全化と災害に強い森林づくりを推進するため、「森づくり」「人づくり」を重点テーマとして取り組んでいる。

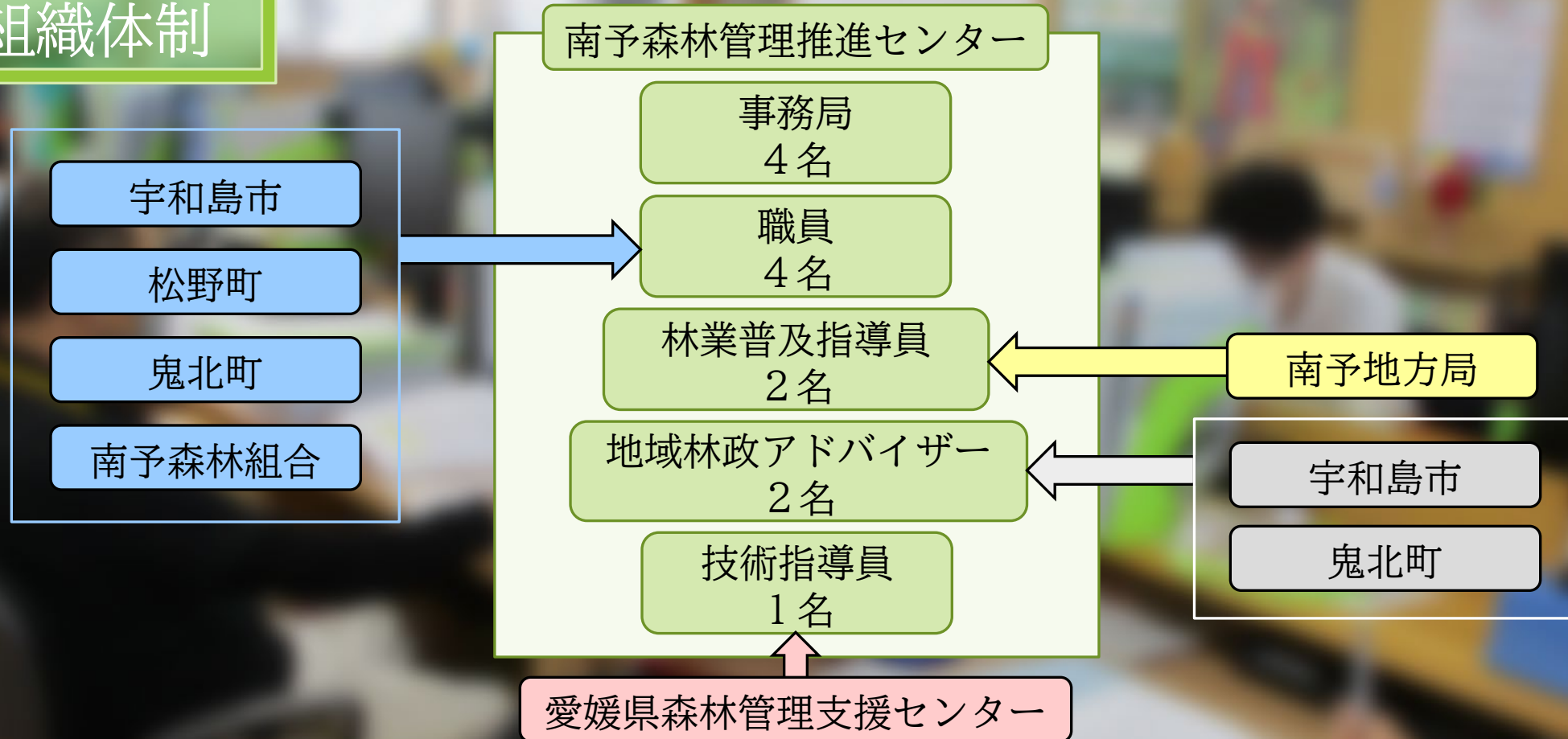
「森づくり事業」

森づくり事業は、広く県民が享受している森林の公益的機能の維持と、木材を生産するための森林の適切な管理により、次の世代へ引き継ぐことを目的とし、3市町と連携を図りながら森林経営管理制度に取り組んでいる。

「人づくり事業」

人づくり事業は、林業の持続的かつ健全な発展を図るために必要な人材の確保・育成を目的とし、担い手の確保・育成の準備と林業事業体の技術向上研修や労働安全衛生研修を実施するとともに事業体の連携を図っている。

5：組織体制

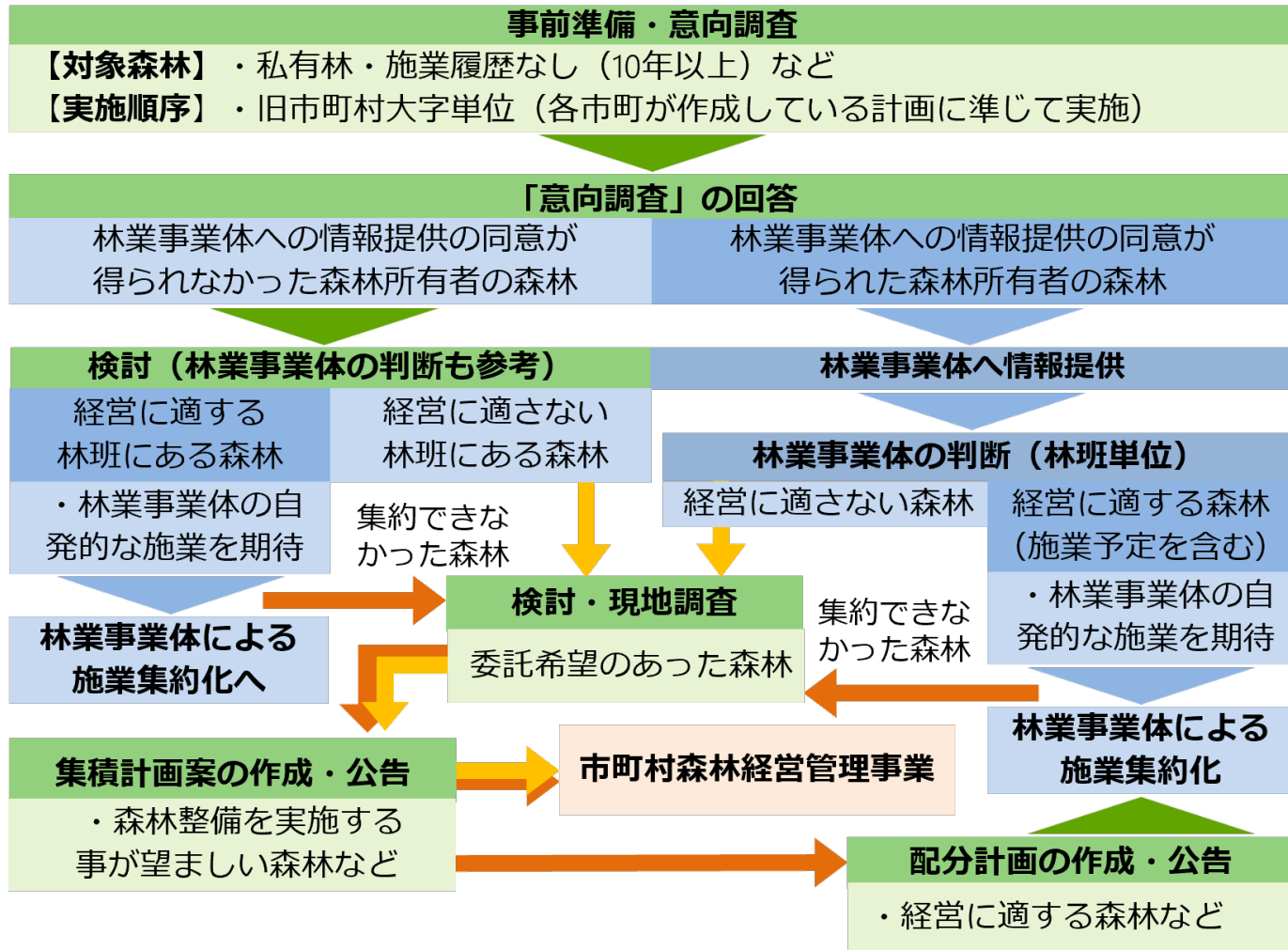


- 【事務局】 事務局長：組織運営、事務局次長：人づくり事業（南予森林アカデミー運用）
研修教務課長：人づくり事業（南予森林アカデミー運用）、事務職員：総務・庶務全般
- 【職員】 南予森林管理推進センター業務
- 【林業普及指導員】 南予森林管理推進センター業務（鬼北町併任派遣職員）及び支援・指導
- 【地域林政アドバイザー】 森林経営管理制度、南予森林アカデミーの補助
- 【技術指導員】 森林経営管理制度に係る支援・指導

6：森林経営管理制度の基本方針

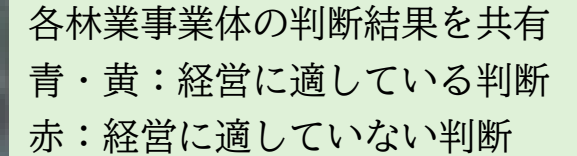
意向調査	経営管理権 集積計画	経営管理実施権 配分計画	市町村 森林経営管理事業	備 考
<ul style="list-style-type: none"> ・旧市町村、大字単位 ・10年で一巡計画（当初） ・対象森林の抽出（森林簿の所有形態・保有形態、施業の有無等） ・林種：人工林・天然林（森林簿） ・南予センターで実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町として策定すべきと判断した森林 ・南予センターで案作成 ・各市町で公告・縦覧 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町として策定すべきと判断した森林 ・南予センターで案作成 ・各市町で公告・縦覧 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害防止の観点から、伐倒木を等高線上に整理する切捨間伐 ・各市町が指名競争入札にて実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・都度、制度の進捗状況を考慮し、推進 ・森林保険は市町負担で加入（付保期間3年～）

7：森林経営管理制度の推進方式



IMM（Informed Management Method【情報に基づく経営管理方式】）

林業事業体が、市町から提供された意向調査の回答内容を踏まえ、主体的に集約化の検討を進め、市町の集積計画等の作成によらず、直接森林整備に繋げる取組。





1	株式会社 株式会社東京海上火災保険株式会社 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1	令和5年11月17日 敬 啓 事 (公益通報)
2	当 社 名 義 通 信 簿	
3	宛 先 名 義 通 信 簿	
4	宛 先 名 義 通 信 簿	
5	宛 先 名 義 通 信 簿	
6	宛 先 名 義 通 信 簿	
7	宛 先 名 義 通 信 簿	
8	宛 先 名 義 通 信 簿	
9	宛 先 名 義 通 信 簿	
10	宛 先 名 義 通 信 簿	
11	宛 先 名 義 通 信 簿	
12	宛 先 名 義 通 信 簿	
13	宛 先 名 義 通 信 簿	
14	宛 先 名 義 通 信 簿	
15	宛 先 名 義 通 信 簿	
16	宛 先 名 義 通 信 簿	
17	宛 先 名 義 通 信 簿	
18	宛 先 名 義 通 信 簿	
19	宛 先 名 義 通 信 簿	
20	宛 先 名 義 通 信 簿	
21	宛 先 名 義 通 信 簿	
22	宛 先 名 義 通 信 簿	
23	宛 先 名 義 通 信 簿	
24	宛 先 名 義 通 信 簿	
25	宛 先 名 義 通 信 簿	
26	宛 先 名 義 通 信 簿	
27	宛 先 名 義 通 信 簿	
28	宛 先 名 義 通 信 簿	
29	宛 先 名 義 通 信 簿	
30	宛 先 名 義 通 信 簿	
31	宛 先 名 義 通 信 簿	
32	宛 先 名 義 通 信 簿	
33	宛 先 名 義 通 信 簿	
34	宛 先 名 義 通 信 簿	
35	宛 先 名 義 通 信 簿	
36	宛 先 名 義 通 信 簿	
37	宛 先 名 義 通 信 簿	
38	宛 先 名 義 通 信 簿	
39	宛 先 名 義 通 信 簿	
40	宛 先 名 義 通 信 簿	

[illegible][illegible]

【主な特徴】

- ・意向調査の発送準備・集計、経営管理権集積計画・経営管理実施権配分計画の案作成、森林所有者への報告等が可能。
 - ・森林GISにリンクさせることで、意向調査の実施・回答状況別、集積計画・配分計画策定の有無等の図面作成が可能。
- (国への報告、森林経営管理制度の対象となった全ての森林の整備進捗状況の把握等を可能とするためカスタム中)

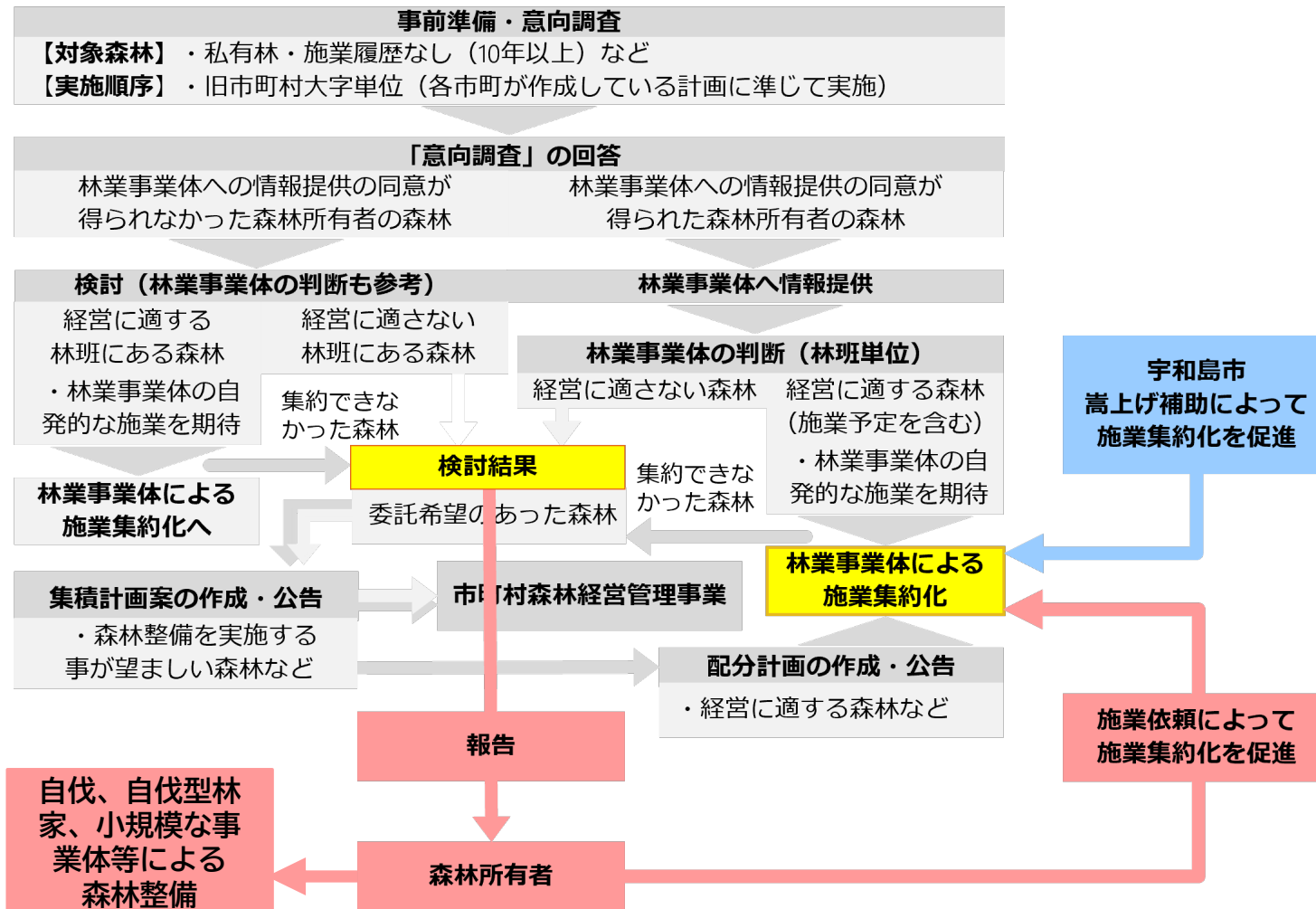
10：森林経営管理制度の実施状況（R5年度末累計）

市町名	意向調査 (ha)	経営管理権 集積計画 (ha)	経営管理実施権 配分計画 (ha)	市町村 森林経営管理事業 (ha 実測)	森林整備に 繋がった面積 (ha 概算)※1
宇和島市	4,941.27	32.87	0.00	6.77	5.46
松野町	1,665.93	43.20	15.17	7.75	0.00
鬼北町	3,263.16	14.32	10.78	3.38	8.93
合計	9,870.36	90.39	25.95	17.9	14.39

- ・愛媛県内で最も林業事業体の担い手不足の影響がある流域のため、意向調査以降のフェーズに大きく影響。
- ・林業事業体の実施可能な市町村森林経営管理事業の量に限りがある。

※1 R6.12月末時点で把握できている面積

11：森林整備を促す状況の構築



- ・ 森林所有者自身の経営管理意欲の向上を促す。
- ・ 林業事業体が現在実施可能な事業量を、意向調査を実施した森林での施業へと誘導。

12：終わりに

複数市町が足並みを揃え制度推進していること、また、林業事業体及び森林所有者を積極的に制度推進に巻き込むフローにしたことで、南予流域にある3市町は、現状で成しうる限り森林経営管理制度を推進しています。

よって、当面の課題は、森林経営管理制度を推進した結果でもある森林整備を促進していくことです。しかし、各市町単位で考えた場合、森林環境譲与税には差があり、必ずしも隣接する市町と同様の事業を実施できる訳ではありません。隣接する市町に比べ、森林環境譲与税の少ない市町の森林が、取り残されることなく整備されるようにしなければいけません。

また、今後、森林経営管理制度を推進し森林を整備していくだけではなく、地域振興に貢献できるフローにしていきたいと考えています。

したがって、今後も関係機関と連携を図りながら、市町の担当者、地域林政アドバイザー、支援センターの同僚と共に業務に尽力していきたいです。